

博多どんたく港まつりに出場

## 「惣利平成龍保存会」龍おどり



▲太鼓を鳴らし街中を堂々と巡行

5月4日、福岡市で開催された第65回「博多どんたく港まつり」のパレードに惣利平成龍保存会が出場しました。

同会は、白水池に龍が住んでいたという伝説にちなみ、「龍おどり」を伝統文化として残し、地域住民の連携と地域発展のために活動しています。

出場は今年で10回目。当日は、手作りの赤い龍と白い龍を見事に操り、観客を魅了しました。

熱中症ゼロを目指す

## 熱中症対策会議を開催



▲啓発や支援について意見交換

4月21日、いきいきプラザで熱中症対策会議を開催しました。この会議は、市、消防本部、連携協定を締結している企業で構成。熱中症対策の推進や情報交換を目的としたものです。

会議では、市民一人一人が熱中症の正しい知識を身に付け、予防のための行動を実践するための啓発や支援などを、関係機関が連携して積極的に行っていくことを確認しました。

★表紙関連

快晴の下、仲間と最高の思い出を

## 市内全中学校で体育祭開催



▲気持ちを一つにして臨む大縄跳び

5月16日、市内全中学校で体育祭が行われました。春日野中学校では、「BREAK OUT」をスローガンに掲げ、史上最強の自分たちを目指して綱引きやクラス対抗リレー、大縄跳びなどの競技に汗を流しました。

プログラム最後のブロック演技では、赤、青、黄色の各ブロックが練習の成果を出し切り、観覧者を魅了しました。

まちがきれいになれば心も洗われる

## 春のクリーン作戦



▲徳府児童遊園を清掃する中学生(春日公園地区)

5月10日、春日市自治会連合会主催の「春のクリーン作戦」が市内で一斉に行われました。

この取り組みは、地域の公園や道路などを快適に利用できるようきれいにするとともに、「ポイ捨て防止」などのマナーアップを図るもので、毎年、春と秋に開催されています。

当日は、中学生も数多く参加し、早朝から大人と一緒に気持ちの良い汗を流していました。

ともだち100人つくろう大作戦

## 新入生歓迎会を開催



▲春日市おもしろOXクイズ

5月23日、春日南小学校でくすのき青葉会(おやじの会)による新入生歓迎会が開催されました。新入生など28人が参加し、春日市にまつわるクイズや鬼ごっこなど4つのレクリエーションで楽しく交流しました。

終了後は、野菜たっぷりのスープ「おやじる」が振る舞われ、子どもたちは心もお腹も満たされたようでした。

8年間の思い出をありがとう

## 新幹線運行終了記念イベント



▲運行を終了した新幹線と記念撮影

5月18日、JR西日本博多総合車両所で特別ラッピング500系新幹線の運行終了記念イベントが行われました。

約8年間、多くの人に親しまれながら走り抜けた同新幹線。会場では、撮影会や感謝の寄せ書きコーナーが設けられました。記念グッズ販売やパネル展示も行われ、参加者はこれまでの運行の歴史を振り返る特別な時間を過ごしました。

訓練で培った消防技術を披露

## 第51回春日市消防操法大会



▲真剣な眼差しでホースを構える団員

5月30日、春日野中学校で市消防操法大会が開催されました。これは市民の生命や財産を守るため、消防団が消防技術の向上や士気高揚を目的として行っているものです。

団員は日頃の訓練の成果を存分に発揮。その結果、小型ポンプの部で本部分団が優勝、北分団が準優勝しました。優勝した本部分団は7月4日に行われる筑紫地区消防操法大会に出場します。

日頃の研究活動を紹介

## 九州大学筑紫キャンパスオープンキャンパス



▲自作のロケットを飛ばす参加者

5月23日、九州大学筑紫キャンパスでオープンキャンパスが開催されました。研究室や研究施設の一般公開、研究の実演、体験など50のブースで、日頃の研究活動を参加者に分かりやすく紹介。

エタノールロケットのブースでは、缶内で気化したエタノールに点火し、参加者が自作した紙コップのロケットを飛ばす実験を実施。紙コップが遠くまで飛ばたびに大きな歓声が上がりました。